

■間部詮房 能役者で寵愛得た藩主が將軍家宣となって側用人に昇り、〈正徳の治〉で華開くも〈享保の改革〉で失脚。

まなべあきふさ

入鉄砲出女令1667= 生。父清貞は甲府藩に仕えた。

幼少のころ能役者喜多七大夫の弟子となり、

・・・・・・1676= 9歳：

徳川綱吉將軍1680=13歳：

藩主徳川綱豊の寵愛をうけ、

堀田正俊暗殺1684=17歳：小姓に用いられる。

出世景清初演1685=18歳：

芭蕉+師宣没 1694=27歳：

生類憐令頂点1695=28歳：

赤穂浪士切腹1703=36歳：

団十郎刺殺・1704=37歳：*家宣(綱豊改名)が5代將軍綱吉の継嗣となったとき、従って幕臣に加えられ、1500俵を給せられ、従五位下越前守に叙任。その後昇進・加増が相次ぎ、

・・・・・・1706=39歳：若年寄格1万石、従四位下、

徳川綱吉没・1709=42歳：*家宣が將軍に就任すると老中格側用人に昇り、

・・・・・・1710=43歳：*高崎城主として5万石を領するに至った。

侍講新井白石とともに將軍家宣を補佐し、前代の弊政改革に努め、

乾山陶器店・1712=45歳：家宣死去後も幼主家継のもとで施政に奮闘し、"正徳の治"と称される安定期をもたらした。

しかし、しだいに白石とともに幕府内で孤立し、

徳川吉宗將軍1716=49歳：*8代將軍吉宗の代に幕政の中樞から失脚。

洋書輸入解禁1720=53歳：不遇のうちに、没した。